

1 研究主題

研究基本主題 『新たな価値を見出し、持続可能な社会を創る力を育む札幌市中学校教育』
1年次（令和5年度）
「新たな価値を見出し、持続可能な社会を創る力を育む札幌市中学校教育の在り方」
2年次（令和6年度）
「新たな価値を見出し、持続可能な社会を創る力を育む札幌市中学校教育の充実」
3年次（令和7年度）
「新たな価値を見出し、持続可能な社会を創る力を育む札幌市中学校教育の深化」

2 研究推進の概要

- (1) 研究主題は全日中研北海道（札幌）大会後に研究基本主題を設定し、3か年の継続研究として実施することとした。さらに今年度は各部ごとに継続研究の1年目として、その「在り方」を意識した研究を推進した。
- (2) 各部において、研究基本主題の設定の趣旨や研究の視点を踏まえ、3か年継続研究の計画を具体化した。
- (3) 各部の正・副部長と研究部で構成し研究内容を交流する「正・副部長会」、各部の研究担当者と研究部で構成し研究推進の具体化と連携を図る「研究担当者会」を設置し、研究内容の質的な向上を図った。
- (4) 「全体研修会」を11月22日（水）に開催し、研究成果の発表交流が行われた。
- (5) 研究成果を記した「研究紀要」は3年ごとにまとめ、継続研究最終年度となる令和7年度に発行する予定となっている。

3 研究の成果と課題

- 札幌市中学校教育の充実と発展に資するために、研究主題に沿った7つの部による共同研究を行っている。令和5年度は継続研究の1年次として、これまでの研究や全日中研北海道（札幌）大会での研究成果と課題を踏まえ、研究基本主題のもと、各部の協力で研究推進を図ることができた。
- 全体研修会については、各部とも3か年継続研究の初年度として「在り方」を意識した取組が行われ、校長対象アンケートの簡素化や発表内容の工夫などが見られ、たいへん質の高い研究内容であった。また、発表場面でも説明が丁寧で分かりやすく、発表で使ったパワーポイントも画面構成、提示方法に適切な工夫が見られ、大変見やすく配慮されていた。
- 各部の研究においては、研究担当者会や正・副部長会などで確認・調整されたことが共通理解され、研究体制の足並みが揃っていた。今後も更に研究テーマへの理解を深め、十分な共有化を図りながら、発表につなげられるような研究体制づくりを進めたい。
- なお、全体研修会当日は、札幌市教育委員会から長谷川正人学校教育部長をお招きして発表をご覧いただき、今後の研究に役立つ丁寧で適切な指導助言をいただいた。
- コロナ禍による研究推進の遅滞や全日中研北海道（札幌）大会の開催もあって、アフターコロナでの持続可能な研究体制を考えることとなったが、研究部が中心となり新たな研究主題を設定し3年間の継続研究の方向性で前進したことが大きな成果と捉えている。

1 研究主題

研究基本主題 『新たな価値を見出し、持続可能な社会を創る力を育む札幌市中学校教育』

1年次（令和5年度）

「新たな価値を見出し、持続可能な社会を創る力を育む札幌市中学校教育の在り方」

2年次（令和6年度）

「新たな価値を見出し、持続可能な社会を創る力を育む札幌市中学校教育の充実」

3年次（令和7年度）

「新たな価値を見出し、持続可能な社会を創る力を育む札幌市中学校教育の深化」

2 研究主題設定の趣旨

「新たな価値」とは、わが国そして「ふるさと札幌」の伝統や文化、郷土への愛着などに立脚した知識や経験に基づきながら、多様性を原動力とし、あらゆる他者を尊重し協働することを通して、質的な豊かさを伴った個人と社会の成長や豊かな人生を築く礎となるものである。

また、「持続可能な社会」を実現させるためには、今を生きる子ども一人一人が創り手としての自覚をもって、よりよい社会の形成を担うことが必要不可欠である。札幌市中学校長会としてこれに資するため、各部において研究推進することに価値があると考え、以上の研究主題を設定し昨年度から3か年継続研究に取り組み、今年度はその2年目となる。

3 研究内容

- ・第1課題 新たな価値を見出し、持続可能な社会を創る力を育む教育課程（研究部）
 - ・第2課題 新たな価値を見出し、持続可能な社会を創る力を育む「学校力」を高める学校経営（管理部）
 - ・第3課題 新たな価値を見出し、持続可能な社会を創る力を育む生徒指導（指導部）
 - ・第4課題 新たな価値を見出し、持続可能な社会を創る力を育む健康・安全・人権教育（保健体育部）
 - ・第5課題 新たな価値を見出し、持続可能な社会を創る力を育むキャリア教育（進路指導部）
 - ・第6課題 新たな価値を見出し、持続可能な社会を創る力を育む学校施設・設備（施設部）
 - ・第7課題 新たな価値を見出し、持続可能な社会を創る力を育む特別支援教育（特別支援教育部）
- 研究基本主題、および「第1～第7課題」を共同研究の視点として認識し、各部が専門的分野において、1課題ずつ担当して、研究を推進するものとする。

4 研究推進計画

- (1) 時代に流されずに、教育の在り方を探るという「通底した柱」のもと、効果的な研究を推進するため、令和5年度から令和7年度までの3か年継続研究とする。
- (2) 研究基本主題の設定理由を理解し、課題設定の趣旨や研究の視点を踏まえ、3か年継続研究の流れを具体化し計画的に推進する。
- (3) 各部の正・副部長と研究部で構成し研究内容を交流する「正・副部長会」、各部の研究担当者と研究部で構成し研究推進の具体化と連携を図る「研究担当者会」を設置し、研究内容の質的な向上を図る。
- (4) 本年度は全体研修会を11月20日（水）に開催し、研究成果の発表交流を行うとともに、札幌市教育委員会から学校教育部長を招いて各研究について講評をいただく予定である。
- (5) 3か年継続研究の最終年に研究成果をまとめ、「研究紀要」として発行する予定である。

5 研究組織

上記、「3 研究内容」のとおり、研究部、管理部、指導部、保健体育部、進路指導部、施設部、特別支援教育部の校長会専門部7部がそれぞれの担当分野の視点に立った研究課題を掲げ、その課題解決を通して研究基本主題の達成に迫るという方法をとっている。

6 その他 特になし